

The Global 30 Experience

課題別セッションA： 海外展開で得たもの：広報活動・海外拠点



本日の発表内容の柱

1. 海外拠点の成果・課題・展望

- (1) マレーシアサテライトオフィス
- (2) 北京サテライトオフィス
- (3) 明治大学アセアンセンター

2. 海外広報活動の成果・課題・展望

- (1) 他大学との連携による海外広報活動
- (2) 国際教育パートナーズ
- (3) 海外広報活動強化

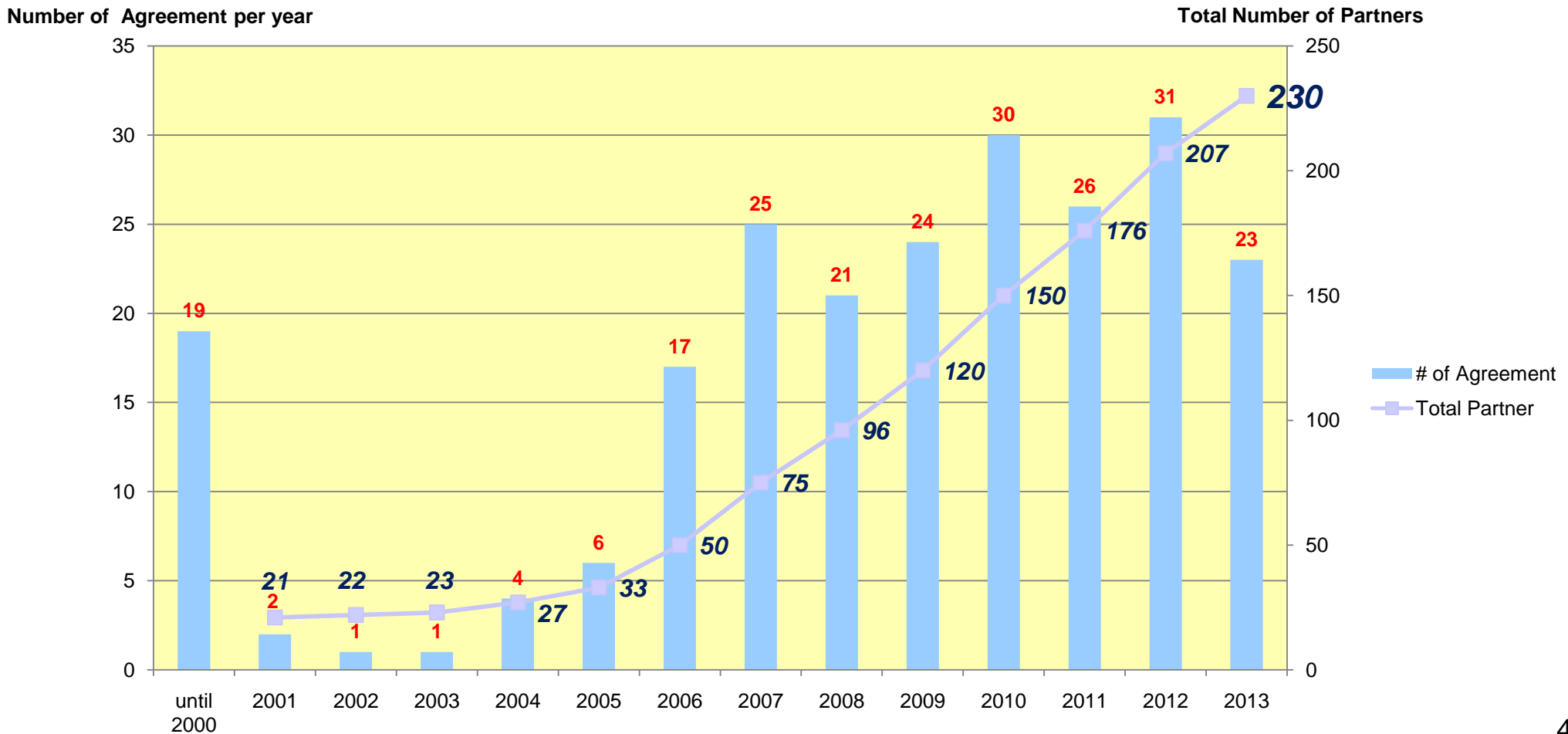
はじめに

○基本情報

- 海外協定校の状況
- 留学生の受入状況
- 国際化関連予算

海外協定校の状況

Number of Partner Institutions



海外協定校の状況

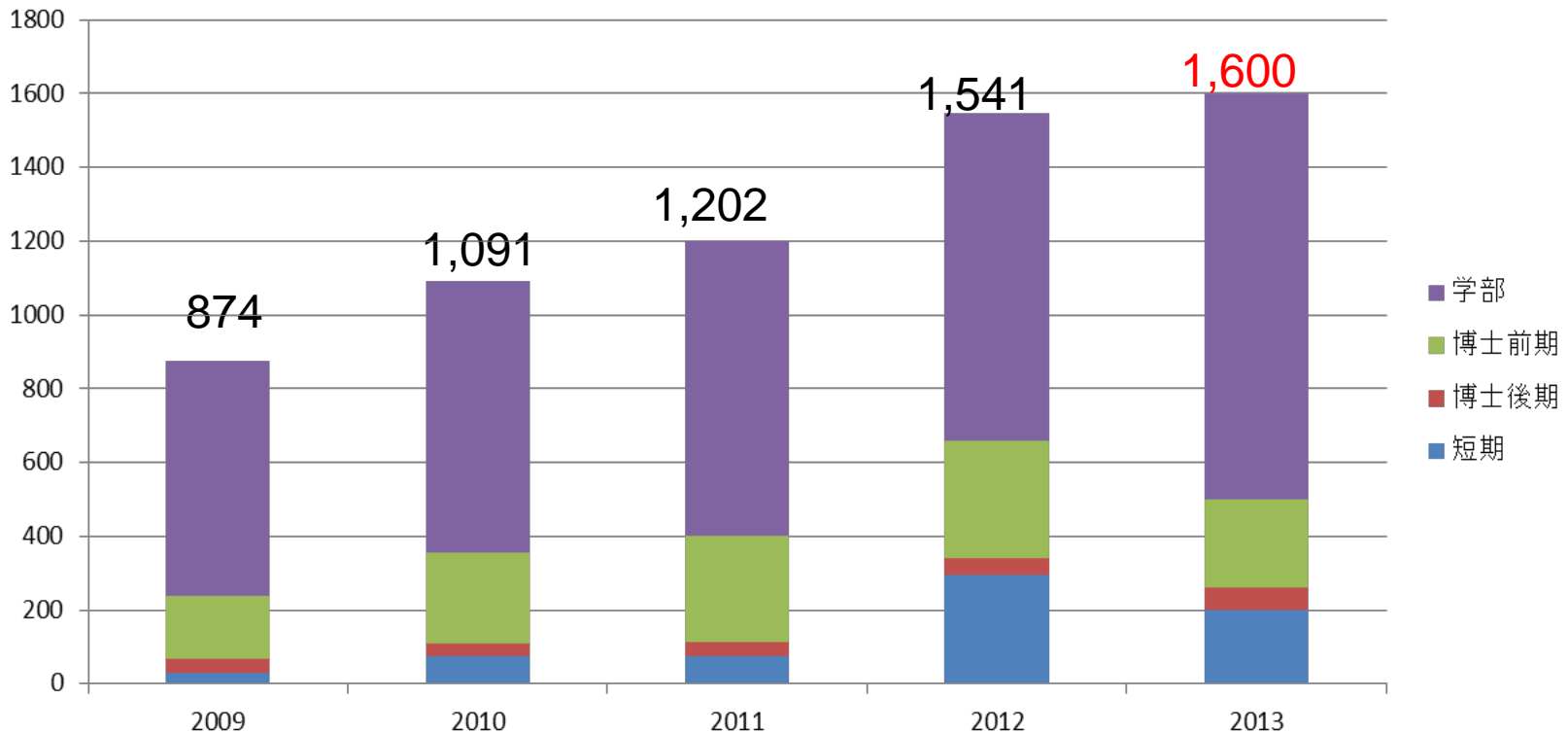
Partner Institutions of Meiji University

230 Collaborating universities in **40** countries (As of Feb 2014)



留学生の受入状況(全体)

※留学生数は、2009年度以降毎年着実に増加。

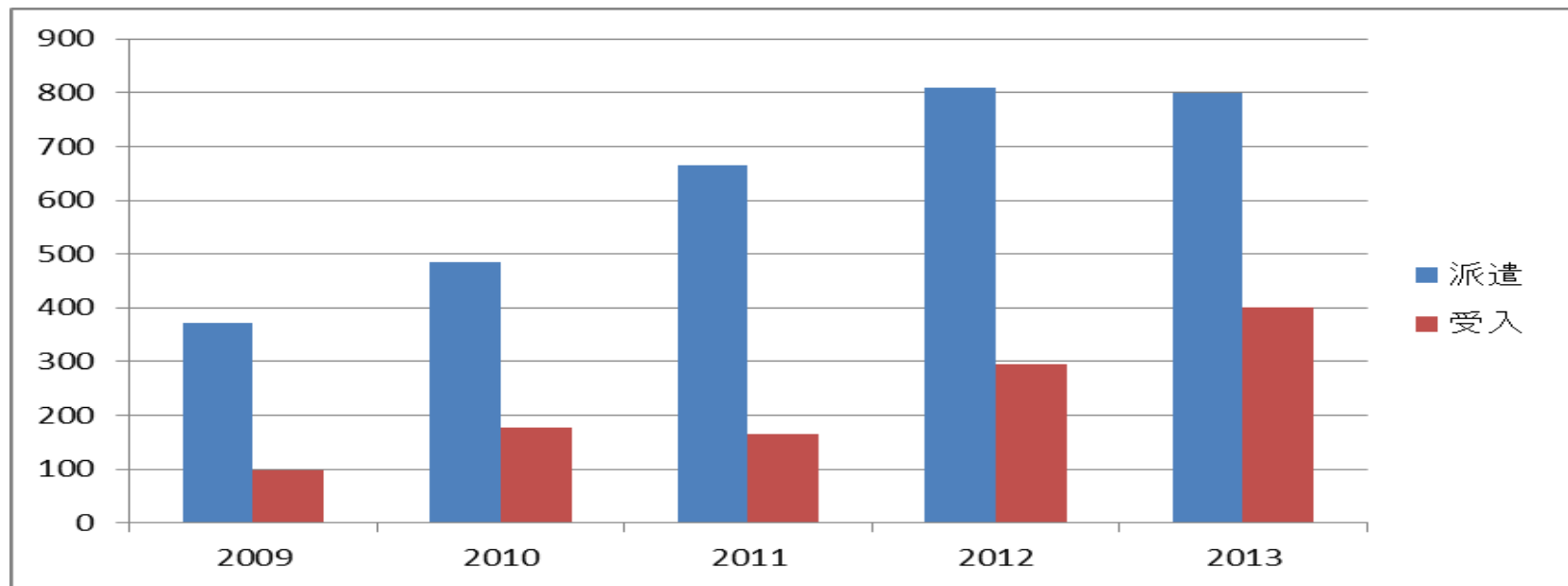


注1) 2009年度～2012年度は5/1在籍者実績

注2) 2013年度は年度末見込み

留学生の受入状況(協定校からの受入)

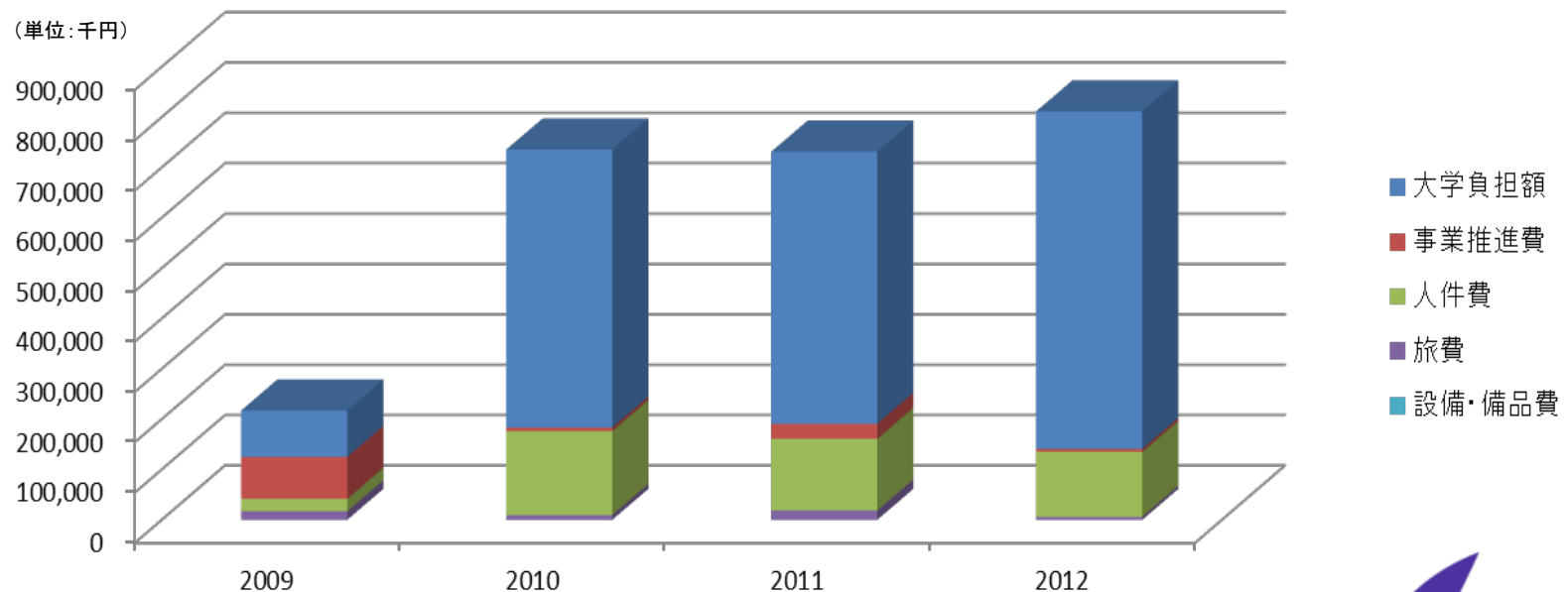
- ・大学間協定及び部局間協定の増加に伴い、交換学生数が漸増している。
- ・派遣・受入ともに目標値を超えて増加。
- ・短期プログラム(SSSV)数の増加と語学研修の増加により、受入・派遣学生数が増加。



※2013年度は見込み数

国際化関連予算

- 大学全体としてグローバル30事業の推進を図るため、事業推進部局である国際連携機構に重点的な予算配分を行うほか、各学部・研究科にも予算計上している。活動経費の7割以上を自己資金により支出している。



1. 海外拠点の成果・課題・展望

(1) マレーシアサテライトオフィス

(2) 北京サテライトオフィス

(3) 明治大学アセアンセンター

1. 海外拠点の成果・課題・展望

(1) マレーシアサテライトオフィス：(平成19年12月～)

1) 運営形態

- ・設置場所：マレーシア工科大学クアラルンプールシティキャンパス内
- ・設置経緯：マレーシア工科大学(UTM)との協定により設置

2) 成果

- ・業務内容：研究連携支援など
- 経営学研究科とマレーシア工科大学ラザック・スクール・オブ・エンジニアリング
アンド・アドバンスド・テクノロジーとのダブルマスター・プログラム(英語コース)

3) 今後の展望

- ・UTMに設置されたMJIT(マレーシア日本国際工科院)との連携強化

1. 海外拠点の成果・課題・展望

(2) 北京サテライトオフィス(平成23年4月～)

設置場所: JTB海外共同利用事務所



1. 海外拠点の成果・課題・展望

(2) 北京サテライトオフィス(平成23年4月～)

1) 運営形態

- ・設置場所: JTB海外共同事務所
- ・運営体制: JTB業務委託

2) 現状と課題

- ・業務内容: 中国国内での広報活動, 中・高等教育機関等との連携強化

3) 今後の展望

- ・大学広報活動強化, 中・高等教育機関等との連携拡大

1. 海外拠点の成果・課題・展望

(3) 明治大学アセアンセンター：タイ・バンコク

(平成25年5月～)

1) 運営形態

- ・設置場所：シーナカリンウィロート大学キャンパス内
- ・運営体制：業務委託



明治大学アセアンセンターの概要

設 立 : 2013年5月1日

住 所 : 114 M.L. Pin Malakul Building 10th Floor, North-Klongtoey
Wattana, Bangkok 10110, THAILAND

(シーナカリンウィロート大学 サービスビル 10階)

運 営 体 制 : 常駐スタッフ・2名 (業務委託先社員)

開 所 時 間 : 9:00~17:00(平日)

(12:00~13:00は昼休み)

※土曜・日曜・祝祭日は休み



アセアンセンターが入居する「サービスビル」

明治大学アセアンセンター設置の意義

- ✓ 日本と東南アジアの関係及びその重要性は、今後ますます高まることが予想される。
その中において、**日本とアジアの架け橋**となりうる日本人学生及びアジア人留学生の育成が急務。
- ✓ 明治大学アセアンセンター(MAC)は、新たな「**海外教育拠点**」である
 - ⇒ 日本人学生には「アジアの文化や社会を学ぶ機会」を提供
 - ⇒ アジア人学生には「**日本に来ることなく、日本の言語や文化を学ぶ機会**」を提供。

(例) 夏期休暇期間中に、明治大学の学生をMACに派遣し、アセアン諸国の連携大学と協力の下で、現地の講師から東南アジアの文化・社会に関する講義を受けたり、現地学生と共同ワークショップを実施する。

タイ及び周辺国の学生に対し、MACで日本語や日本理解促進に資する講義を提供する。
そのために「**遠隔講義システム**」を活用し、明治大学のリソースを最大限活用する。

タイ国内の協定校に「交換留学」で派遣されている明治大学の学生に、**生活サポートや現地語(タイ語)の学習支援**を実施する。

MACが拠点となり、現地で活動する企業やNGO等での**インターンシップ**やボランティアを実施。



文部科学省「大学の世界展開力強化事業 ～ASEAN諸国等との大学間交流形成支援～」への採択

- ✓ 明治大学のプログラム「**日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム**」が平成24年度(2012年度)文部科学省の補助事業に採択を受けました。(全国の国公立大学等から71件の申請があり、14件が採択:採択率 20%)

⇒ 平成24年度・他の採択大学:東京大学・京都大学・北海道大学・早稲田大学・慶應義塾大学・東京医科歯科大学など

※「大学の世界展開力強化事業」は、**国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化**を目指し、**高等教育の質の保証**を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行うアジア・米国・欧州等の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的としています。

プログラム名称

日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

Q. 「日本ASEAN実務型リーダー」とは？

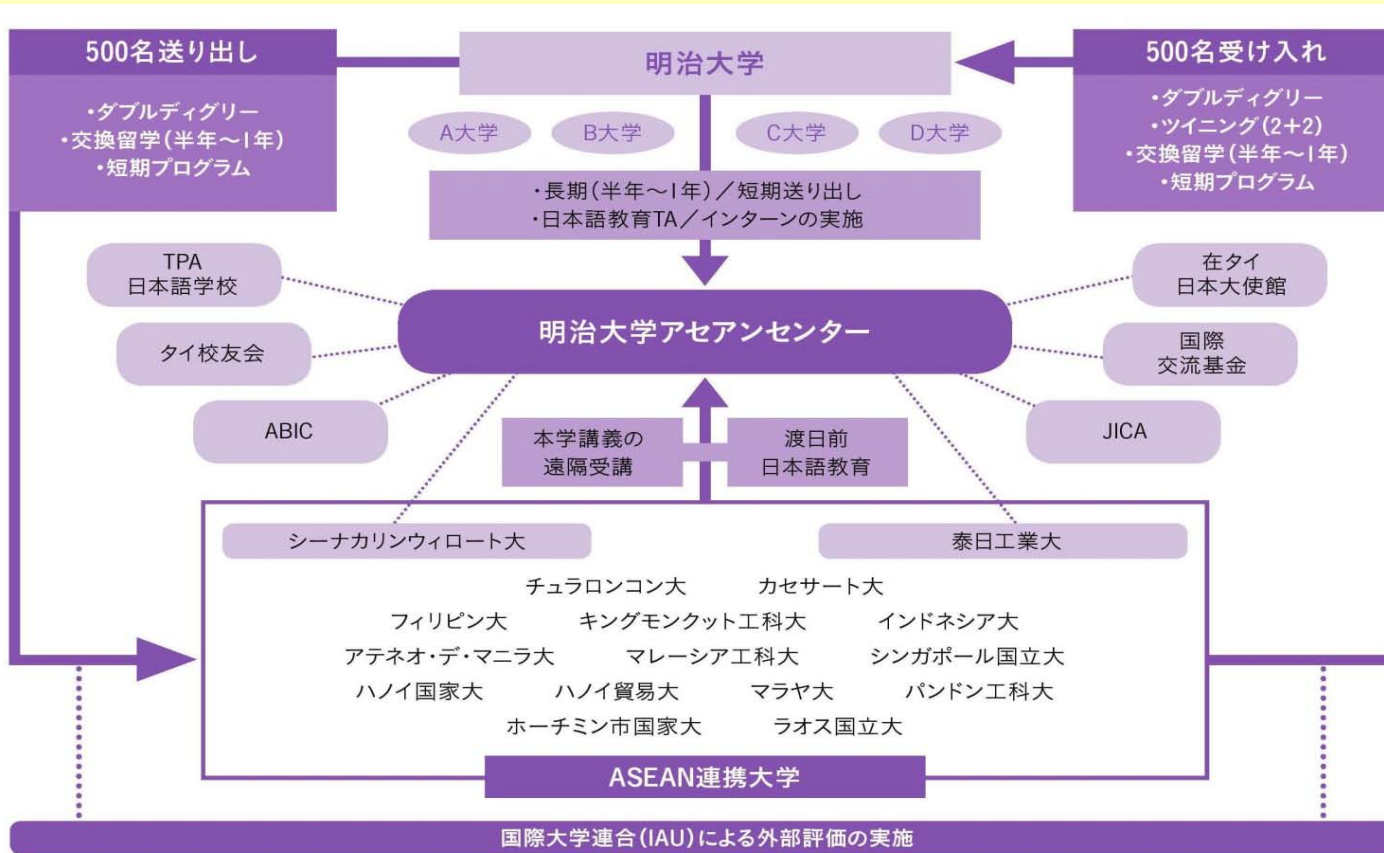
将来、ビジネスパーソン、ジャーナリスト、建築家、NGO、公務員など多くの実務分野において、たくましい「現場力」を持って日本と東南アジアとの懸け橋となりうる人材を日本とASEAN諸国の双方に育成することを目的としています。

Q. 「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム」とは？

ASEAN地域の協力大学16大学との国際共同コンソーシアム内での共同教育プログラムやタイ・バンコクに設置した「明治大学アセアンセンター」での各種プログラム等、長短期様々な教育プログラムを通じて、5年間で日本人送り出し500名及びASEAN側学生受け入れ500名、合計1,000名の学生交流を目指します。

国際教育コンソーシアム構想

- 2012年から5年間で、世界展開力強化事業連携大学との派遣 / 受入 合計 **1,000人**の学生交流を計画
- 明治大学アセアンセンターを拠点としたプログラムの実施



明治大学アセアンセンターの施設紹介



受付カウンター



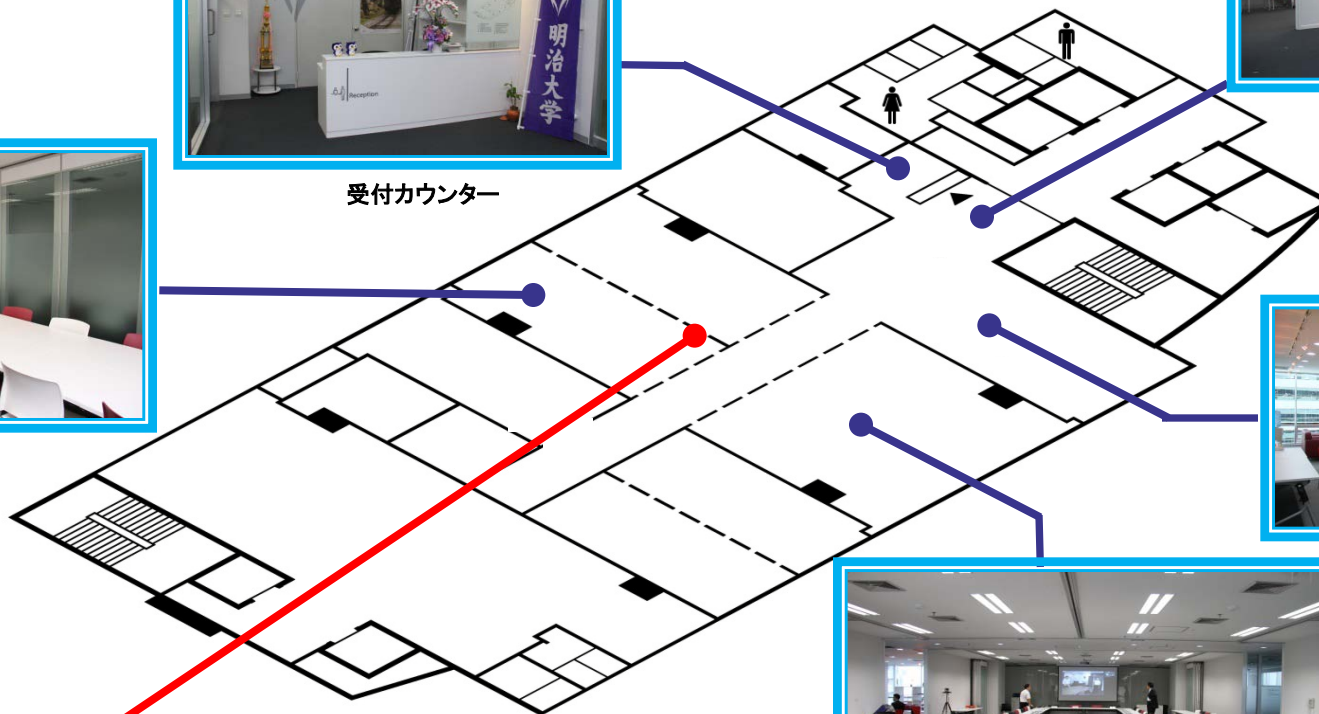
エントランスホール



グループディスカッションなど、
多目的に利用できるゼミ室



ラウンジ



点線部の壁面は可動式で、用途に合わせて
多様なレイアウトが可能

50人収容の教室。
遠隔講義システムも装
備している



明治大学アセアンセンターでの学生交流プログラムの様子



政治経済学部SWUプログラム・SWU付属
ブラザーミット高校でのSEND活動



政治経済学部SWUプログラム・修了式



理工学研究科建築学専攻・チュラロンコン大学との共同
ワークショップ



農学部「国際農業文化理解プログラム」
FAOで模擬国連会議開催



情報コミュニケーション学部プログラム



政治経済学部SWUプログラム・
最終プレゼンテーション

1. 海外拠点の成果・課題・展望

(3) 明治大学アセアンセンター

2) 現状と課題

- ・日本の大学の「海外キャンパス」の制度整備

3) 今後の展望

- ・国際教育コンソーシアム(ASEAN17大学)との連携強化
- ・学位プログラムの展開を視野

2. 海外広報活動の成果・課題・展望

- (1) 他大学との連携による海外広報活動
- (2) 国際教育パートナーズ
- (3) 海外広報活動強化

2. 海外広報活動の成果・課題・展望

(1) 他大学との連携による海外広報活動

○Study in Japan Fair in Paris 2013 (G30パリ日本留学フェア)

■ブースでの相談の様子



2. 海外広報活動の成果・課題・展望

○Study in Japan Fair in Paris 2013(G30パリ日本留学フェア)

■講堂でのセミナーの様子



2. 海外広報活動の成果・課題・展望

○Study in Japan Fair in Paris 2013(G30パリ日本留学フェア)

■French-Japanese Academic Meetings の様子



2. 海外広報活動の成果・課題・展望

○Study in Japan Fair in Paris 2013 (G30/パリ日本留学フェア)

1) 経緯

- ・「日仏共同博士課程」日本側コンソーシアム議長校
- ・フランス政府留学局(キャンパス・フランス)との連携

2) 実施内容

- ・G30採択大学の連携による海外における日本留学フェアの一環
- ・「日仏共同博士課程」日本側コンソーシアム大学へも参加呼びかけ
- ・パリで初めての本格的な「日本留学フェア」の開催(17大学参加:資料参加含む)
- ・フランスの大学(38大学)と日本の大学(12大学)のマッチング機会の創出

3) 課題と展望

- ・現地(パリ)に海外拠点を設置しない状況での実施運営
- ・毎年度継続開催の実現に向けて
- ・フランスの大学等との連携強化による日本への留学生の拡大

2. 海外広報活動の成果・課題・展望

(2) 国際教育パートナーズ

1) 連携の仕組み

- ・アジア学生文化会館, JTB法人東京, ベネッセコーポレーションとの連携により「国際教育パートナーズ」を結成。
- ・外国人留学生の海外募集～入学～就職までのトータル・ソリューション・モデルの構築を目指す。

2) 取り組み内容

- ・「留学促進共同プラットフォーム」及びJAPAN STUDY SUPPORT(JPSS)
- ・G30英語コースにおける活用
- ・外国人留学生入試(日本語コース)における活用

→他大学への普及促進により日本の大学全体のインフラ整備へ

2. 海外広報活動の成果・課題・展望

(3) 海外広報活動強化

1) これまでの海外広報

- ・大学ホームページ多言語化, 大学案内多言語化(広報課)
- ・外国人留学生入試広報(国際教育センター, 各学部・大学院)

2) 海外広報活動の戦略的展開

- ・各学部・大学院部門の教職員の海外日本留学フェア参加等
- ・広報課との協働
- ・「グローバル広報専門部会」の設置及び予算の確保
- ・広報課職員の海外日本留学フェア参加

さいごに:グローバル30で得たもの

- 1 内部変化:全学への「国際化」の広がり
 - ・国際政策上のガバナンス強化, 国際部門の業務拡大
 - ・「待ち」から「攻め」への転換
 - ・他部門との連携強化
- 2 学外との関係の変化:他大学との協働
 - ・意見交換の場の創出
 - ・情報, 課題の共有
 - ・ネットワークの形成

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

MEIJI UNIVERSITY



明治大学
MEIJI UNIVERSITY